

2022年4月10日 NO.57-15

《開会 午前10時30分》		— 礼拝式順序 —	
※は一同ご起立下さい。		司式	吉田謙牧師
		奏楽	K姉妹
前	奏		
礼拝への招き	イザヤ書 55章 6節, 7節		
挨拶			
※賛美	詩編歌 130 (1)		
祈	禱		
罪の告白			
静	思		
赦しの宣言			
平和のしるし			— 神の招き —
照明の祈り			
聖書朗読	ヨハネによる福音書 12章 27節～36節 (新約 192頁)		
奨	励	「光の子」	
祈	禱	吉田謙牧師	
静	思	— 神の言葉 —	
※賛美	303 (4) (讃美歌21)		
信仰告白	ウエストミンスター小教理問答 問 26 (週報裏面)		
使徒信条			
献	金	U姉妹・Y姉妹・H姉妹	
執り成し		吉田謙牧師	
主の祈り	(週報裏面)		— 感謝の応答 —
※頌	栄	29 (讃美歌21)	
※祝福と派遣	吉田謙牧師		
※アーメン三唱	40-5 (讃美歌21)		
報	告	礼拝当番 M執事・H姉妹	
		— 派 遣 —	

※体調のすぐれない方は座席についたままで礼拝にご参加ください。

《罪の告白と赦し》

罪の告白への招き

司式 罪人である私たちを、神様はなお憐れみをもって招いておられます。
ですから、今、私たちは、神様の御前に入るにあたって、
自らの罪を、へりくだりと信仰をもって、神様に正直に告白いたしましょう。

罪の告白

司式 一同で罪の告白をいたします。

罪の告白

司式 一同で罪の告白をいたします。

一同 憐れみ深い父なる神よ。私たちは告白します。神の心と私たちの心は、
何と異なっていることでしょうか。私たちは、神のみ心が行われることよりも、
自分が成功し、幸福になることを第一に考えています。
飢えている人々があることを気にしないで、飲み食いしています。
ほかの人の悲しみには鈍く、自分の苦しみだけが取り去られることを願っています。
ほかの人の必要を知らないで、自分の欲しいものを手に入れようとしています。
ほかの人の心を知らないで、自分の話したいことを口に出しています。
あなたの戒めに従うよりも、自分の判断を優先させています。
自分の好きなことを行うときの足は速く、
困っている隣人を助けるための足は重くなってしまいます。
私たちの罪をゆるし、私たちの心を新しく造りかえてください。
聖霊によってきよめ、日々キリストに似る者にしてください。
自己中心ではなく、神と隣人を中心に生きることができるよう助けてください。
救い主イエス・キリストの御名によって祈り願います。 アーメン

司式 しばらく目を閉じて、一週間の歩みを振り返り、それぞれ犯した罪を思い起こしましょう。そして、その罪を心から悔い改め、その赦しを神様に願い求めたいと思います。しばらく心静まる時間を持ちます。（４０秒）

赦しの宣言

司式 主の憐れみは、永遠から永遠まで変わることがありません。
主イエス・キリストの御名により、私はあなたがたに罪の赦しを宣言します。
あなたがたの罪をすべて赦される憐れみの神が、
すべて良いことにおいて、あなたがたを力づけ、
聖霊の力によって、永遠の命の内にあるあなたがたを守ってくださるように。

一同 アーメン。

平和のしるし

司式 神がキリストにあって私たちを赦してくださいました。
私たちも互いに赦しあいましょう。
主イエス・キリストの平和があなたがたと共にありますように。

一同 アーメン。

今日の集会

- ◇教会学校(オンライン併用) 9:30~10:15
 〈司会〉 Y先生
 〈お話〉 U先生
- ◇成人学級 10:00~10:20
- ◇奉仕前祈祷会 10:20~
- ◇執事会 12:30~

《前週統計》

祈祷会・求道者会・教会学校はネット併用で開催

2022/4/3		男性	女性	男児	女児	合計	
集	礼拝	13	21	3	2	39	
	祈祷会	1	1	0	0	2	
	求道者会	1(3)	0(7)	0	0	1(10)	
	オリキッズ	—	—	—	—	—	
会	礼拝の恵み	—	—	—	—	—	
	統	成人科	8	10	—	—	18
		幼稚科	5	4	1(0)	1(0)	2(0)
		小学生	—	—	2(1)	1(0)	3(1)
		中高生	—	—	0(0)	0(0)	0(0)
計	献金	礼拝		30,000			
	教会学校			2,000			

今週の集会

- ◇祈祷会 4月13日(水) 午前10時30分~ 休会(中会定期会出席のため牧師不在)
- ◇相談日 4月13日(水) 午後2時~5時 休会(中会定期会出席のため牧師不在)
- ◇求道者会 4月14日(木) 午前10時30分~ オンライン併用(家庭集会と合流)

次週の集会 (4/17) イースター記念礼拝

- ◇教会学校 〈司会〉 F先生
 (ネット) 〈お話〉 Y先生
- ◇成人学級 〈担当〉 吉田謙牧師 午前10時~10時20分
- ◇礼拝 〈説教〉 吉田謙牧師「信じる者になりなさい」
 〈聖書〉 ヨハネによる福音書20章19節~29節
 〈旧約聖書〉 簡易礼拝のため省略
 〈新約聖書〉 簡易礼拝のため省略
 〈讃美歌〉 詩編歌47・333(21)・197(21)・24(21)
 〈司式〉 吉田謙牧師 〈奏楽〉 K兄弟
 〈献金〉 Y姉妹・H姉妹・U姉妹
 〈礼拝当番〉 M執事・H姉妹

- ◇有志による掃除 礼拝後

お知らせ

- ◇イースター献金を募ります。目標額：27万円(教会員は維持献金袋で)。
- ◇4月24日(日)礼拝後に食事をせずに婦人会を開催します(会議室にて)。ご参加ください。
- ◇大会執事活動委員会からの要請により、ウクライナ難民支援の募金を募ります(受付のレプタ箱)。ご協力よろしくお願ひします。締切：4月24日(日)
- ◇川瀬弓弦教師のハンガリー宣教のための自由献金を募ります。献金してくださる方は、受付にある献金袋でお願ひします。
- ◇礼拝に出席する際には必ずマスクを着用し、一階でアルコール消毒をして下さい。また密集を避けるため基本的には一つの机に二人ずつ座るようにして下さい(家族は例外)。
- ◇ラジオ伝道番組「キリストへの時間」(ラジオ関西 558kHz 日曜日午前7時30分~45分)を聞きましょう。4月17日放送予定：宮武輝彦先生(男山教会)「あなた方に平和があるように」
- ◇掲示板
 - *A神学生より礼状が届いています。
 - *川瀬弓弦教師の「ハンガリー宣教とウクライナ 平和の祈り」集会の案内が届いています。
 日時：4月23日(土)14時~15時半 場所：園田教会
 - *全国青年リトリートの案内が届いています。場所：雀のお宿キリスト教会館円
 日時：5月3日(火)~5日(木) テーマ：「集まって僕らはナニをスル？」
 講師：吉岡契典先生・吉田隆先生 対面参加：18歳-29歳 オンライン参加：18歳-49歳

◇今週の牧師予定

4月12日(火)午前9時30分～ 中会教師の働きに関する委員会 於：神港教会
4月12日(火)午後1時～2時 関西地区伝道協議会定期会 於：神港教会
4月12日(火)午後2時30分～13(水)午後0時 中会定期会 於：神港教会
4月13日(水)午後0時～ 中会教師の働きに関する委員会 於：神港教会

4月の祈祷課題

- ①主の受難と復活を覚えて(受難節 3/6-4/16, イースター 4/17)。
- ②ウクライナの平和のために祈りましょう。 ③J神学生のために。
- ④愛する者を天に送り、悲しみの中にあるご遺族のために。 ⑤教会学校のために。
- ⑥西部中会の歩みのために(4/12-13 中会定期会開催予定)。
- ⑦川瀬弓弦先生のハンガリー宣教のために。 ⑧但馬みくに伝道所の新会堂改修工事のために。
- ⑨滋賀摂理教会の金原堅二先生のために。 ⑩関西地区伝道協議会のために。
- ⑪闘病中の方々を覚えて。 ⑫求道者のために。 ⑬新型コロナウイルス感染症予防のために。
- ⑭川島利子姉妹のために。 ⑮年間教会標語「教会に生きる喜び」
- ⑯豪雨災害、大阪北部地震、北海道地震、熊本地震、東日本大震災の復興のために。
- ⑰滋賀摂理教会・千里山教会・園田教会・神戸長田教会・恵泉教会・板宿教会・南与力町教会のために。
- ⑱4月生まれの方のために。

今月の掃除当番 T姉妹、Y姉妹

【本日の聖書日課のテーマ】「十字架への道」(受難週)

旧約聖書 イザヤ書50章4節～7節：主の僕の忍耐
新約聖書 マルコによる福音書14章32節～42節：ゲツセマネの祈り

あの力に満ちた主が、山上で栄光に輝いた主が、どんな論敵にも動じない主が、ひどく恐れ、悶えておられる。しかもその姿を隠そうともせず、「ここを離れず、目を覚ましていなさい」と求めておられる。この苦悶する人間イエスから目を反らしてはならないと思います。では「死ぬばかりに悲しい」とまで言われた、その悲しみとは何だったのでしょうか。それは私たちが捨ててしまった悲しみではないのでしょうか。人間が破壊した神との関係、人と人との関係、それでいて何の問題もないかのごとく取り繕っている偽りの関係、そこに断絶があり、深い淵があります。人間が「私は悪くない。悲しむ理由などない」と打ち捨てた悲しみが沈殿しているその淵で、主は悲しみに沈み、身もだえしておられるのです。神が捜し求める「石垣の破れ口に立つ者」(エゼキエル22:30)の姿がここにあります。

主イエスは「地面にひれ伏して」祈られました。これは尋常な姿ではありません。本当は負いきれないものを負おうとしておられるのです。「この杯を取りのけてください」とさえ祈られ、極限まで追い詰められながら、しかし主はこの杯を放り捨てなかった。それはつまり、この私を主がお見捨てにならなかった、ということでしょう。

他方、弟子たちは眠ってしまいました。情けないことですけれども、しかしこれが人間の実態なのです。「心は燃えても、肉体は弱い」この「肉体」とは霊肉を二元化したの体ということだけでなく、「神により頼んだりせず自分でやっていく」という肉적인人間のこと。肉は、自分の今の願いを充足することしかできません。真になすべき天からの使命を果たすことができない。眠いから寝る、弟子たちにはそれしかできなかったのです。

しかし、主は言われました。「もうこれでいい」お前たちは所詮その程度だろうから仕方ない、という「いい」でなく、あなたたちの肉の弱さは私が担う、その覚悟は既に定まったという「いい」でしょう。だから主は、「立て、行こう」と言われます。それは御自身の決意であると同時に、弟子たちへの招きでもあります。弟子たちはもう間もなくついて来なくなり、逃げ去ってしまうことは分かっているのです。しかし、彼らは間もなく、死から復活した主と再会するのです。復活に触れて挫折から立ち直った時に、彼らは立ち上がります。“そのときには肉によらず霊によって生きなさい。目を覚ましていなさい”苦悶の祈りの後に、迷いなく「立て、行こう」と弟子たちを促した主イエスから、苦悶を乗り越えた強さと、慈しみの深さが溢れ出ています。

ウエストミンスター小教理問答

- 問26 キリストは、どのようにして王の職務を果たされるか。
答 キリストは、私たちをご自分に従わせ、私たちを治め、守り、また、彼と私たちのすべての敵を抑制し、征服

使徒信条

われ、天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、
全能の父なる神の右に座したまえり、
かしこより来りて生ける者と死ねる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。アーメン。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らを、こころみにあわせず、悪より救い出したまえ。
国と力と栄えとは、
限りなく、なんじのものなればなり。アーメン。